

内閣総理大臣 安倍 晋三 様  
財務大臣 麻生 太郎 様  
厚生労働大臣 加藤 勝信 様

## 介護サービスの切り捨てを許さず、 尊厳ある暮らしを支える介護保険・高齢者福祉を求める署名

### (要請趣旨)

2000年に始まった介護保険は、介護サービス削減、自己負担増、保険料値上げを繰り返してきました。政府は、2019年9月20日「全世代型社会保障会議」を開催、介護保険でもさらに負担増と給付サービスの削減を進めようとしています。

次期改訂では、要支援に続き要介護1,2の方の生活支援サービスを介護保険からはずし、ケアプラン作成費用を有料化することなどが検討されています。

私たちは、高齢者の尊厳ある暮らしを支えるためには「保険」でなく国・自治体の責任で必要な人に必要な介護を保障する「措置制度」であるべきだと考えていますが、介護保険制度の下では、国の負担を増やし高齢者の尊厳ある暮らしを支えることが必要だと考えています。次期改訂で更なる介護サービス切り下げを行わないことを求めます。

また、低い介護職員の給与を全職種平均まで引き上げ介護職員の確保も喫緊の課題です。

大企業は446兆円もの多額の内部留保をため込んでいます。法人税を引き上げる。所得税率、配当初期税率などを引き上げ富裕層への課税を強化する。肥大化を続ける防衛予算を削減する。そうすれば、財源は生み出せます。消費増税(社会保障に充当されているわけではない)は必要ありません。

### 要望項目

- 1 要介護1,2の方を介護保険から外さず、要支援の方も介護保険に戻すこと。
- 2 ケアプラン作成費用の有料化を行わないこと。
- 3 介護サービス利用の2,3割負担を行わず、1割負担に戻すこと。
- 4 自治体に対し要介護認定の抑制や介護給付費の削減を強要しないこと。
- 5 65歳以上の障害者の介護保険優先を見直し障害福祉法に基づくサービスを保障すること。
- 6 介護職給与を10万円引き上げ他職種並みとすること。原資は介護保険でなく国費で保障すること。
- 7 介護保険財政への国庫負担を倍増し、保険料と利用者負担を引き下げること。

名前	住所

呼びかけ団体 「尊厳ある暮らしを」連絡会(医療・介護従事者 当事者 家族)  
(署名問い合わせ先)